

研究協力についての説明書
未就学の聴覚障害児の養育者版

（研究説明書）

研究課題名：COVID-19 流行下における聴覚障害者の ICT 利活用の実態調査

1. 調査の背景・目的

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大によって、私たちの生活は急激にデジタル化が進み、遠隔会議システムなどの ICT（情報とコミュニケーションに関する技術：Eメール、Zoom や LINE などのオンライン通話や、Slack、インターネット上のアプリなど）を用いたコミュニケーションも普及しました。一方で、人と対面で会える機会が減り、聴覚障害児の育つ環境も変化したことがあると伺っています。

本研究では、昨年春からの感染症拡大下での聴覚障害児を育てる環境の変化と、ICT を活用したどのような支援が求められているのかについて明らかにすることを目的としています。

この研究は、国立障害者リハビリテーションセンター研究倫理審査委員会にて、その科学性・倫理性に関して審議され、承認を受け、国立障害者リハビリテーションセンター総長の許可を受けて実施するものです。

2. 調査対象者：本研究では、下記の条件を満たしている方を対象としています。

- ・ 養育しているお父さまが
 - ・ 未就学である方
 - ・ 聴覚障害を有している方
 - ・ 聴覚障害について医師の診断を受けている方

以上の条件を満たし、ご参加に同意いただける方からのご協力をお願いしております。

3. 調査回答方法

本研究では、参加への同意ボタンによる確認と、回答の送信をもって、研究参加への同意が得られたものとします。養育者が 20 歳未満の場合は、20 歳以上の保護者（聴覚障害児の祖父母等）にも同意（代諾）を得た上で記入してください。説明の内容に不明な点があれば、実施責任者まで、遠慮なくご質問ください。

なお、手話での自由記述回答欄（別途、回答時に説明文書を提示します）以外は個人情報には取り扱いませんので、個人の特定につながる内容（氏名、住所、電話番号、生年月日など）を記入しないようご注意ください。

研究期間は、2024 年 3 月 31 日までです。

4. 研究協力依頼内容：

- ・ 質問への回答は 30 分程度です。

新型コロナウイルス感染症拡大下における聴覚障害児を育てる上での困りごと、最近の ICT（情報通信とコミュニケーションの技術）について選択肢等を選ぶかたちで回答いただいた上で、そのほかにご意見や現在の困っている状況、ICT の活用事例などを自由に記述していただきます。

- ・ 自由記述欄について、記入することがらが思いつかない時には、無理に記入する必要はありません。
- ・ 参加は自由であり、身体的・精神的に疲れた場合にはいつでも参加を取りやめていただくことが出来ます。その場合は回答の記録が残ることはなく、いかなる不利益を受けることはありません。
- ・ 「同意ボタン」による確認に加えて、回答結果の「送信」を持って、調査研究への同意をしていた

だけたことといたします。データは完全に匿名であり、個人が全く特定できないかたちになりますので、送信後の同意撤回は困難です。ご了承ください。(手話動画の送信については別途定めます)

5. 個人情報の管理方法（匿名化など）：

得られるデータは、完全に匿名です。ただし、自由回答を手話動画で送信される場合は別途個人情報の取り扱いを定めます。投稿欄の横に説明文書がありますので改めて同意をいただきます。手話動画でご回答いただいたデータは国立障害者リハビリテーションセンター研究所にて書記日本語に変換し匿名化したのち、回答と紐付けて分析・保存します。

回答結果の分析ののちに、学会や学術雑誌への発表を行い、匿名のデータは、ホームページ等などで広く公表します。なお、自由記述に際しては、自身や関係者の個人情報（実名・住所・連絡先など）を記入しないようにお願いします。個人情報に相当する記述があった場合には、ただちに削除させていただきます。

6. 当該研究の資金源、起こりうる利害の衝突（研究結果に関する特許権の利害等も含む。）及び研究者等の関連組織（研究者の属する実施機関、研究班等）とその関わり：

この研究は国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業「COVID-19 流行下における聴覚障害者の ICT 利活用の実態調査及びその成功例をもとにした情報提供資材の開発」（研究代表者 幕内 充）により行います。この他に、特定の団体からの資金提供は受けておりませんので、研究組織全体に関して起こりうる利益相反はありません。当センターにおける利益相反の管理は、国立障害者リハビリテーションセンター利益相反委員会が行っていますので、詳細をお知りになりたい場合は、担当者までお問い合わせください。

7. 当該研究に参加することにより期待される利益、起こりうる危険及び必然的に伴う不快な状態並びにその対応：

今回の調査に参加することによる直接的な利益はありませんが、本調査により、感染症拡大下での聴覚障害者の状況を把握することで、将来的な支援手法・対処方法の開発に貢献できる可能性があります。

このアンケートに回答することで、困難だったことを思い出してつらい気持ちになることがあるかもしれません。もし、不安を感じたり、気分が悪くなったりするようでしたら、我慢せずに速やかに中断してください。また、疲れを感じるかもしれません。適宜休憩をはさみ、記入してください。記入途中で中止いただいても差し支えありませんし、それによりいかなる不利益を受けることもありません。

8. 研究に関する相談等への対応と個人情報の取扱いに関するお問い合わせ先：

- この研究についてのご意見、ご質問、ご相談等に関しては下記の連絡先、あるいはアンケートサイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせ下さい。
- 本アンケート調査では個人情報の取り扱いはいたしません。質問・問合せ・ご意見がある場合は、下記までお申し出下さい。

9. その他の確認事項

- 研究に参加することに同意しなくてもなんら不利益をうけることはありません。また一旦参加することに同意した場合でも、その同意は撤回することができ、記入中でも自由に取りやめることが可能です。
- 本研究では、同意ボタンによる確認と回答の送信をもって、参加への同意をしていただけたことといたします。データは完全に匿名であり、個人が全く特定できないかたちになりますので、送信後の同意撤回は困難です。ご了承ください。
- 本研究の成果は、学会、報告会、論文等において公表されます。また根拠となるデータ（匿名）は、ホームページ等により広く公開されます。完全匿名データのみ扱っており、個人情報が外部に公表されることは一切ありません。
- 他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を提供いたします。
- ご回答いただいたデータは、調査・研究・広報目的以外には使用せず、国立障害者リハビリテーシ

ョンセンター研究所脳機能系障害研究部高次脳機能障害研究室にて10年間保管します。研究成果として公開されるデータ以外は、10年後の時点で廃棄します。

- 研究内容についての質問・問い合わせ・ご意見がある場合は下記の研究責任者までお申し出ください。他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を提供いたします。

〈問い合わせ連絡先〉

国立障害者リハビリテーションセンター研究所/
脳機能系障害研究部高次脳機能障害研究室 流動研究員
研究分担者氏名 高嶋 由布子
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
電話番号 04-2995-3100 (内線2518) FAX 04-2995-3132
メール: dict-pat@rehab.go.jp

〈個人情報に関する苦情の申し立て先〉

国立障害者リハビリテーションセンター
企画・情報部
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
電話番号 04-2995-3100 (内線2140)
メール: kikakurinnri@mhlw.go.jp
企画課長: 佐々木薫

〈研究責任者〉

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 脳機能系障害研究部 高次脳機能障害研究室長
幕内充